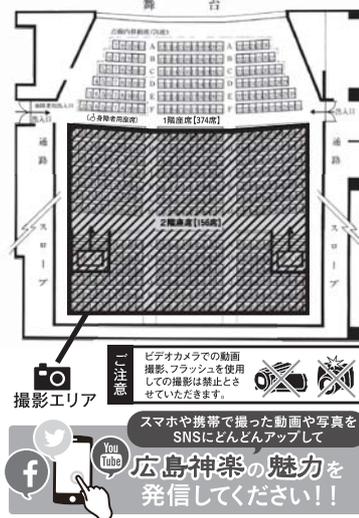


「広島神楽」定期公演へようこそ!

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

9月5日のタイムスケジュール

出演：富士神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『葛城山』

(おおよそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『八岐大蛇』

(おおよそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。
本日の記念には是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ふじかくらだん

富士神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

富士神楽団の発足は明治年間、石見神楽矢上系の神楽団から教えて頂いたと伝えられています。

その後、昭和26年に安芸高田市(美土里町)の神楽団より八調子新舞の教えを受け、「悪狐伝」などを舞い始めました。

昭和45年には富士神社に神楽を奉納していた、境・茅ヶ原地区の神楽団と合併し、現在の富士神楽団になりました。

近年では、競演大会、県内各地の奉納神楽、各種イベント、老人ホームなどで披露する機会が増えており、若い団員からベテランまで一丸となって「感動ある神楽」を目指し活動しています。

第一幕『葛城山』(かつらぎざん)

大和国・葛城山に古くから住んでいたという土蜘蛛の精魂は、源頼光が重い病になったと聞き、頼光の侍女・胡蝶を取り喰らい胡蝶の姿へと化身します。

典薬守からもらい受けた薬を毒薬に替え、頼光に飲ませ襲い掛かろうとした時、胡蝶の正体に気付いた頼光は、枕元にあった源家の宝刀「膝丸」で斬りつけると土蜘蛛の精魂は手傷を追い、葛城山へと逃げ帰ります。

頼光はその太刀を「蜘蛛斬丸」と改めて四天王に授け、葛城山の土蜘蛛征伐を命じます。

四天王は土蜘蛛の流血のあとを追って葛城山にたどり着き、土蜘蛛の妖術に苦戦しながらも、激闘の末めでたく土蜘蛛を退治します。

【出演】	大太鼓 … 梅田 翔太	源 頼 光 … 柏谷 健太	胡蝶(化身) … 小 笹 陽二
	小太鼓 … 梅田 哲治	卜部季武 … 浅原 裕亮	土 蜘 蛛 … 沼田 秋治
	手打鉦 … 石川 泰典	坂田金時 … 竹岡 聖司	
	笛 … 脇本 真自		

第二幕『八岐大蛇』(やまたのおろち)

日頃の悪行により天照大神をはじめとする高天原の神々に高天原を追われた素戔鳴尊(スサノウノミコト)は、諸国を放浪し、出雲の国の斐の川の川上で嘆き悲しんでいる足名椎、奇稲田姫に出会います。その訳を聞いた尊は、奇稲田姫を妻にする事を条件に大蛇退治を決意し、夫婦に毒酒の用意をさせます。

すると、群雲ともに大蛇が現れ、毒酒を飲み酔い伏してしまいます。尊は不意を付き、大蛇との壮絶な戦いの末、大蛇を切り裂き見事大蛇を退治します。その時、大蛇の尾から一振りの剣が表れます。尊はこの剣を「天叢雲剣」(アメノムラクモノツルギ)と名づけ、天照大神に献上します。

【出演】	大太鼓 … 梅田 翔太	須佐之男命 … 浅原 裕亮	蛇 … 小 笹 陽二
	小太鼓 … 梅田 哲治	奇稲田姫 … 柏谷 健太	蛇 … 竹岡 聖司
	手打鉦 … 石川 泰典	足名椎 … 大野 富紀	蛇 … 沼田 秋治
	笛 … 脇本 真自	手名椎 … 日高 勇人	

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。